

大雨・洪水に関する情報

● 気象警報

分類	用語	基準	
大雨	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
大雨 洪水	警報	大雨による重大な災害が発生すると予想された場合、もしくは大雨などにより河川の増水やはん濫などによる重大な災害が予想された場合	1時間雨量 70mm
	注意報	大雨による災害が発生すると予想された場合、もしくは大雨などにより河川の増水やはん濫などによる災害が予想された場合	1時間雨量 40mm

● 1時間雨量と雨の強さ

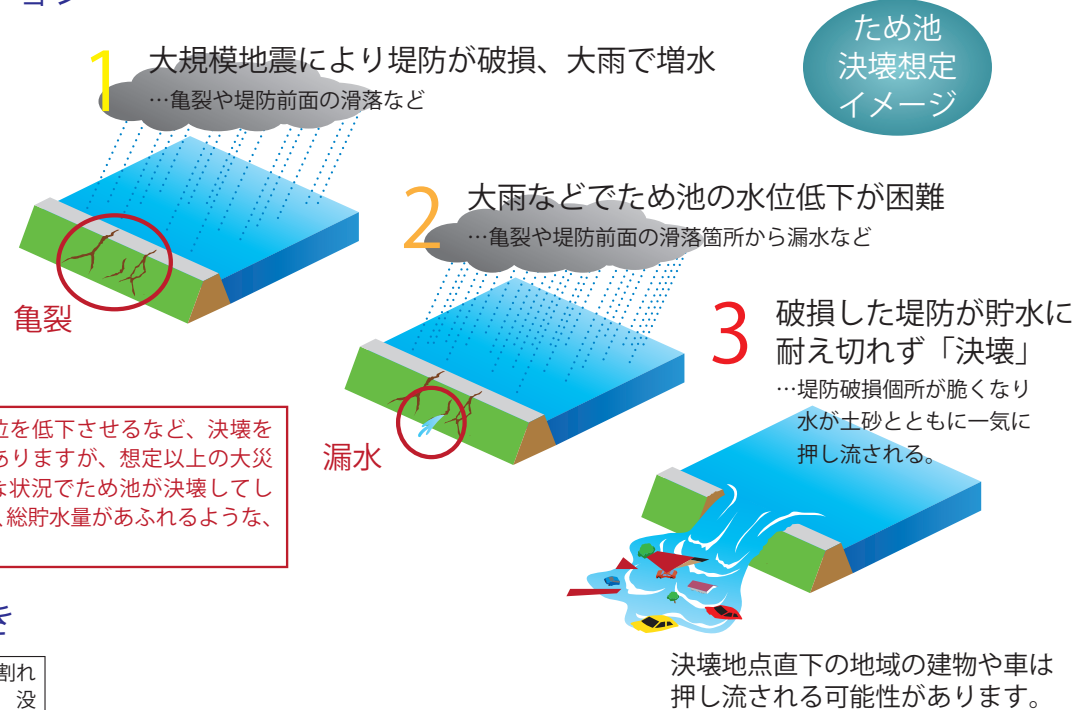
雨量	強さ	状況
10～20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る。地面一面に水たまりができる。長く続く時は注意が必要。
20～30mm未満	強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づらい。
30～50mm未満	激しい雨	バケツをひっくりかえしたように降る。道路が川のようになる。
50～80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る。水しぶきであたり一面が白くなり、視界が悪くなる。
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。

もしも、ため池の堤防が壊れたら

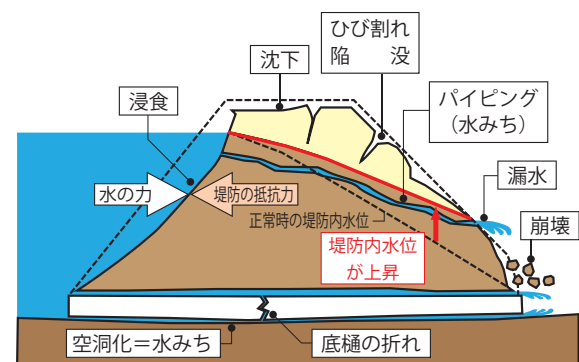
● はん濫シミュレーション

本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。

緊急事態においては、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置が行われる場合もありますが、想定以上の大災害が発生した場合、いつどのような状況でため池が決壊してしまうかどうかは不明です。そのため、総貯水量があふれるような、最悪の状況を想定しています。



● ため池が危険なとき



大雨時

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時（震度4以上）

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合



富田地区 ため池ハザードマップ



富田地区ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

ため池ハザードマップの作成にあたっては、国の農村地域防災減災事業補助金を活用しています。農業用ため池で、受益面積が2ha以上かつ災害が発生した場合の被害想定額（農業以外）が4,000万円以上のものを対象に作成しています。

緊急時の連絡先

行政機関	白浜町消防本部	0739-43-0119	ライブライン	白浜町役場 / 上下水道課	0739-45-2000
	白浜警察署	0739-43-0110		関西電力(株) コールセンター	0800-777-8073
	白浜町役場 / 総務課	0739-43-5555		西日本旅客鉄道(株) 白浜駅	0739-42-2240
	白浜町役場 / 農林水産課	0739-45-0009		【電話】会社名:	
医療機関	紀南病院 (救急告示医療機関)	0739-22-5000	その他	【ガス】会社名:	
	南和歌山医療センター (救急告示医療機関)	0739-26-7050			
	白浜はまゆう病院	0739-43-6200			

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

災害用伝言ダイヤル (171)

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音 **171 + 1 +** 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 録音

伝言の再生 **171 + 2 +** 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 再生

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

わが家の防災メモ

家族で話し合って記入してください。

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先

【お問い合わせ先】 白浜町役場 / 農林水産課 TEL:0739-45-0009

和歌山県西牟婁郡白浜町 富田地区 ため池ハザードマップ

このハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測によるものです。なお、重ねため池については、上流側のため池決壊により、下流側のため池も連続的に破堤した場合を想定しています。

※災害の状況によっては表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性があります。

池名	堤高, m	総貯水量, m ³	プール, 杯	浸水範囲	備考
田の口第一池	6.5	5,200	9	[浸水範囲表示]	重ねため池
田の口第二池	5.8	8,600	14		

※プールは、600m³(25mプール)で換算

重ねため池とは

棚状に複数のため池が連なっているものは、『重ねため池(又は親子池)』と呼ばれています。

- 対獣害防止柵の開閉扉
- 高速道路へ上がる階段

※当該地区においては、対獣害防止柵が設置されている為、上記開閉扉等利用してください。

凡例

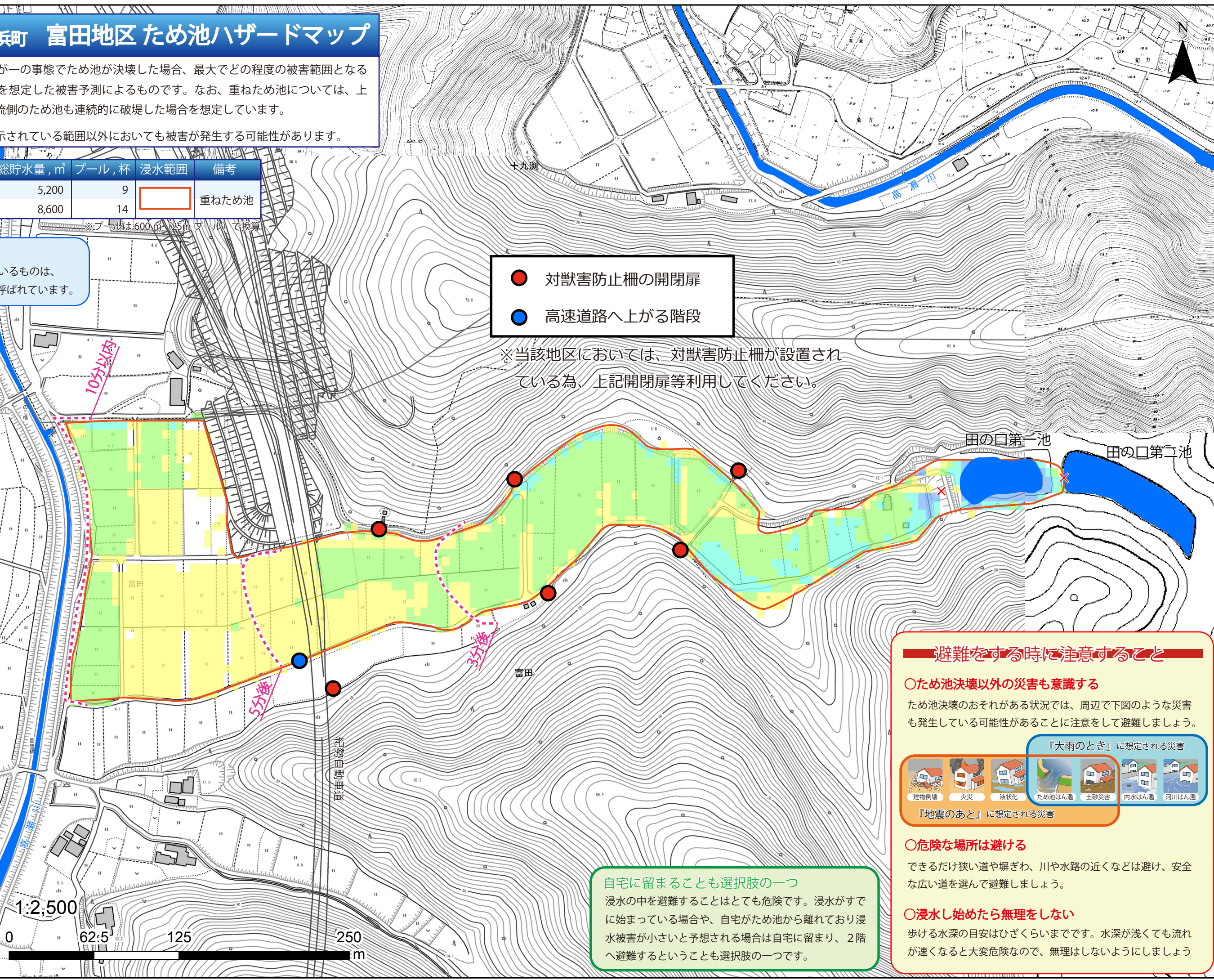
- 対象ため池
- × 破堤地点
- 浸水到達ライン

浸水深の目安

- 2階の軒下までつかる程度5.0m▼
- 1階の軒下までつかる程度2.0m▼
- 大人の腰までつかる程度1.0m▼
- 大人の膝までつかる程度0.5m▼

浸水深

- 5.0m以上
- 2.0~5.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.1~0.5m未満



避難をする時に注意すること

○ため池決壊以外の災害も意識する

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で下図のような災害も発生している可能性があることに注意して避難しましょう。

『大雨のとき』に想定される災害

- 建物倒壊
- 火災
- 液状化
- ため池はん濫
- 土砂災害
- 内水はん濫
- 河川はん濫

『地震のあと』に想定される災害

○危険な場所は避ける

できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう

自宅に留まることも選択肢の一つ

浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。